

インフルエンサー 北齋

2025年1月25日（土） - 4月6日（日）

絵師でありデザイナーでもあった葛飾北齋の作品は、多くのものに影響を与えながら時を超えて現代でも生き生きと輝いています。本展覧会では、『新形小紋帳』や『今様櫛キセル雛形』などの北齋が手がけた江戸時代のデザイン集と合わせ、北齋作品の絵柄が織られた西陣織の帯や、伝統的な染めの技法で表現された北齋デザインの反物や着物などもご紹介します。京都の西陣織あさぎ美術館、小紋屋高田勝、亀田富染工場、東京の久米繊維工業、そして宮城県気仙沼の気仙沼ニットングにご協力をいただき、各工房の職人たちが丹精込めて作り上げた北齋をテーマにした作品と、彼らのものづくりへの思い、そして北齋作品の今後の展望と可能性に視点を当てた展覧会です。

お問い合わせ先

一般財団法人 北齋館（広報：飯塚／担当学芸員：荒井）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: pr@hokusai-kan.com



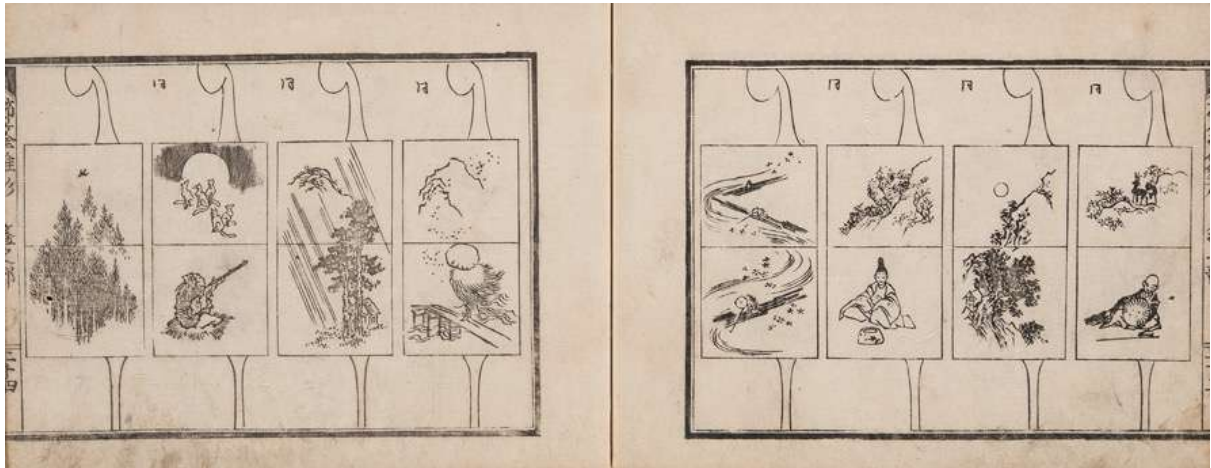
hokusai-kan.com



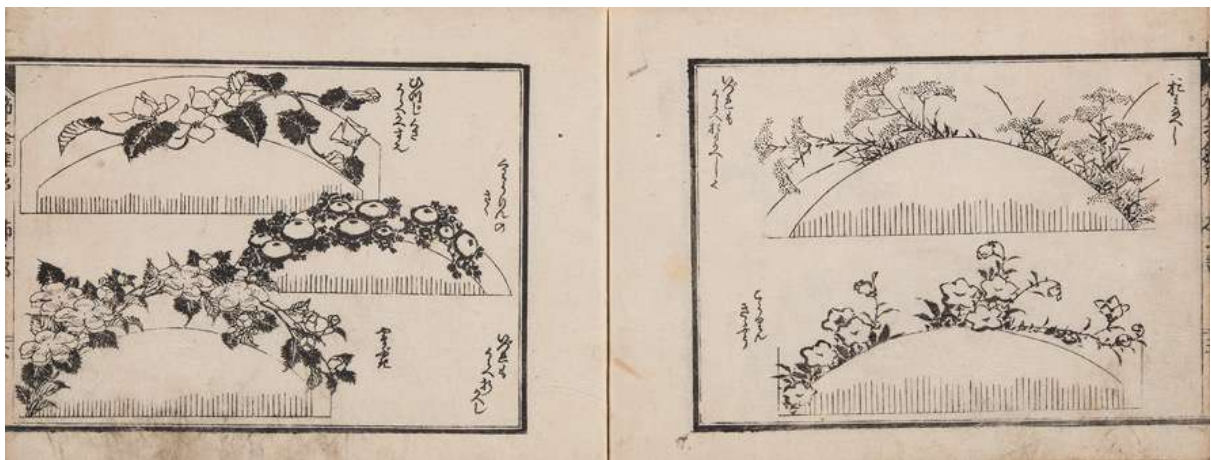
| 展示構成 |

【第一章】江戸のインフルエンサー 北斎

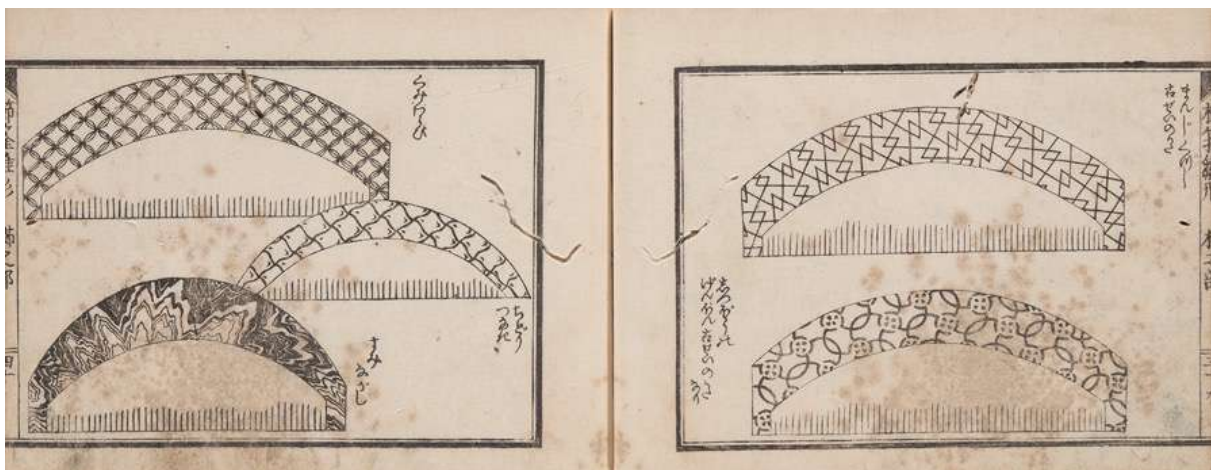
北斎が手掛けたデザイン集は、何のために、そしてどんな人たちのために作られたのかをご紹介します。



葛飾北斎『今様櫛キセル雛形』キセルの部



葛飾北斎『今様櫛キセル雛形』櫛の部 上



葛飾北斎『今様櫛キセル雛形』櫛の部 下

【第二章】北斎作品を織る

日本最古の伝統産業である西陣織。織の技術を極めた精緻な織物で北斎の浮世絵を表現。西陣織の歴史と制作過程、西陣織の今後の展望などを含めご紹介します。

協力：西陣織あさぎ美術館（京都）



西陣織あさぎ美術館 西陣極細織額装「富嶽三十六景 凱風快晴」



西陣織あさぎ美術館 西陣極細織額装
「富嶽三十六景 山下白雨」



西陣織あさぎ美術館
西陣極細織丸帯「富嶽三十六景」



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」（北斎館所蔵）



葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」（北斎館所蔵）

【第三章】北斎作品を染める

北斎の浮世絵に見られる青は、その色鮮やかさから「北斎ブルー」とも呼ばれています。その北斎の美しい青を染めで表現した繊維作品、また北斎が手掛けたデザイン集より採用した、小紋柄を施した反物や着物などを紹介します。北斎デザインを製品としてみる事ができる貴重な展示です。協力：小紋屋高田勝（京都）、亀田富染工場/Pagong（京都）



小紋屋高田勝 北斎柄反物『絵本彩色通』より



小紋屋高田勝 北斎小紋着物・帯『新形小紋帳』より



亀田富染工場/Pagong 北斎アロハシャツ
「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」



亀田富染工場/Pagong 京友禅「男浪」制作の様子



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」
(北斎館所蔵)



亀田富染工場/Pagong
北斎柄テキスタイルを使用したカットソー「男浪」

【第四章】北齋作品を編む

その工房ができ、ものづくりに至るまでには、様々な出来事や人との歴史、人々の思いが存在します。「北齋作品はものづくりの希望になり得る」そのメッセージをこのセクションで発信します。協力：久米繊維（東京）、気仙沼ニットイング（宮城）



気仙沼ニットイング 帽子 「赤富士(凱風快晴)」



気仙沼ニットイング 帽子 「赤富士(凱風快晴)」



久米繊維工業 Tシャツ 「百物語 こはだ小平次」
Stylist: Toshihiro Oku, Photographer: Ayao Yamazaki



葛飾北齋 「百物語物語 こはだ小平次」
(北齋館所蔵)

| 関連イベント | 学芸員によるギャラリートーク

※詳細は公式HP (<https://hokusai-kan.com/>) トップページのイベント情報にてご確認ください。

| 開催概要 | インフルエンサー 北斎

会期：2025年1月25日(土)～4月6日(日)

会場：北斎館（長野県上高井郡小布施町小布施485）

開館時間：午前9時～午後5時 ※ご入館受付は閉館30分前まで

休館日：会期中無休

入館料：大人1,000円、高校生500円、小中学生300円、小学生未満 無料

※新年度料金改訂により入館料に変更がある場合がございます。

協力：西陣織あさぎ美術館様（京都）

小紋屋高田勝様（京都）

亀田富染工場/Pagong様（京都）

久米繊維様（東京）

気仙沼ニッティング様（宮城）

北斎館について

江戸の浮世絵師葛飾北斎専門の美術館。北斎が晩年、豪商高井鴻山に頼って滞在した長野県小布施町に所在しています。北斎館祭屋台、そしてそこに描かれた天井絵を地域から寄託を受け保存および展示しています。また、肉筆画の傑作である「富士越龍」、「菊図」などの肉筆作品を多数所蔵しています。摺物・版本の所蔵も多く、年間を通しての来訪者は15万人ほどになります。



祭屋台展示室

お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（広報：飯塚／担当学芸員：荒井）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: pr@hokusai-kan.com



hokusai-kan.com

